

第3期データヘルス計画 (参考資料)

1.基本情報（被保険者数等の推移、年齢階級別加入者数）

福岡支部被保険者数等の推移

区分	R2	R3	R4	対R3年度増減
被保険者数	1,139,513	1,144,949	1,139,546	-5,403
男	662,216	661,199	656,849	-4,350
女	477,297	483,750	482,697	-1,053
被扶養者数	771,520	759,337	739,965	-19,372
男	273,584	270,795	267,949	-2,846
女	497,936	488,542	472,016	-16,526
加入者数	1,911,033	1,904,286	1,879,511	-24,775
男	935,800	931,994	924,798	-7,196
女	975,233	972,292	954,713	-17,579
事業所数	100,484	104,477	108,057	3,580

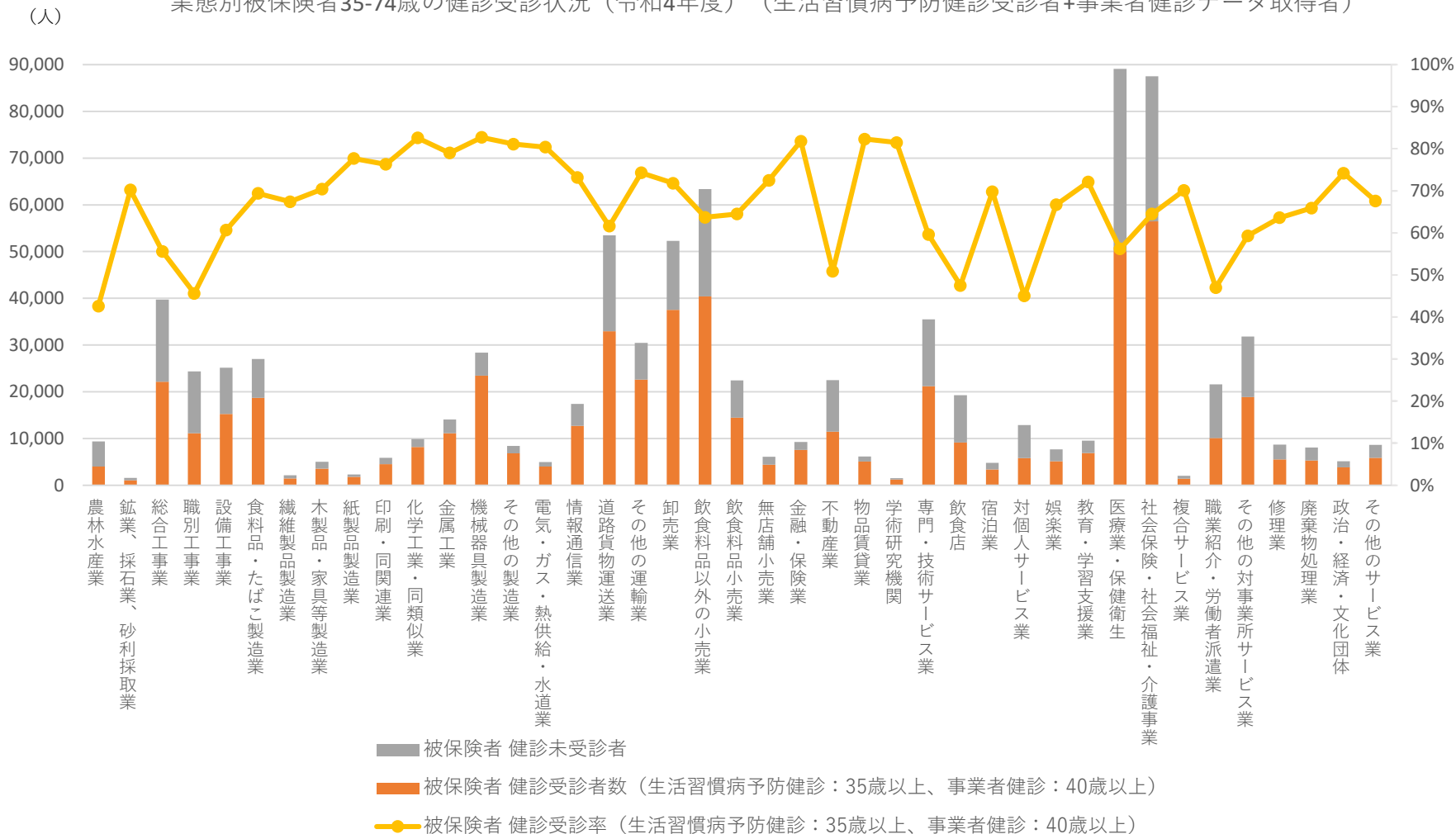
令和4年度の加入者数は全国4位。
加入者数の平均年齢は、36.52歳で、全国平均と比較して0.82歳低い。全国順位では、低いほうから7番目となっている。

福岡支部年齢階級別加入者数

年齢階級（年度末）	女	男
0～4歳	44,423	46,087
5～9歳	53,142	55,912
10～14歳	56,175	58,738
15～19歳	55,537	57,587
20～24歳	62,729	59,002
25～29歳	63,721	58,276
30～34歳	64,664	61,024
35～39歳	74,896	72,382
40～44歳	83,510	80,919
45～49歳	92,592	90,250
50～54歳	86,713	81,241
55～59歳	72,993	63,520
60～64歳	64,869	60,380
65～69歳	45,974	46,774
70歳以上	32,775	32,706
加入者平均年齢	36.52歳 (全国平均 37.34歳)	

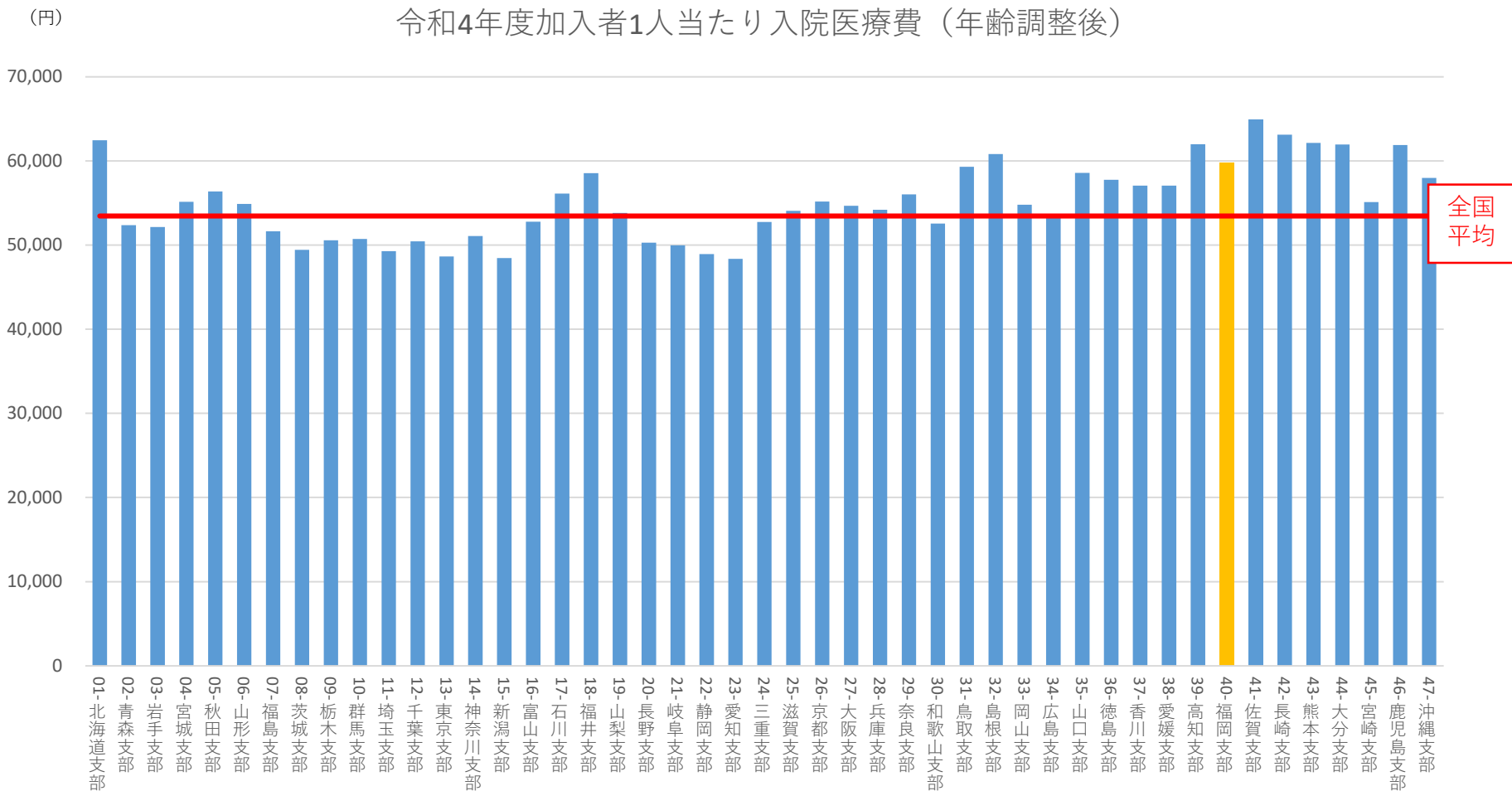
1.基本情報（業態別被保険者35-74歳の健診受診状況）

業態別被保険者35-74歳の健診受診状況（令和4年度）（生活習慣病予防健診受診者+事業者健診データ取得者）



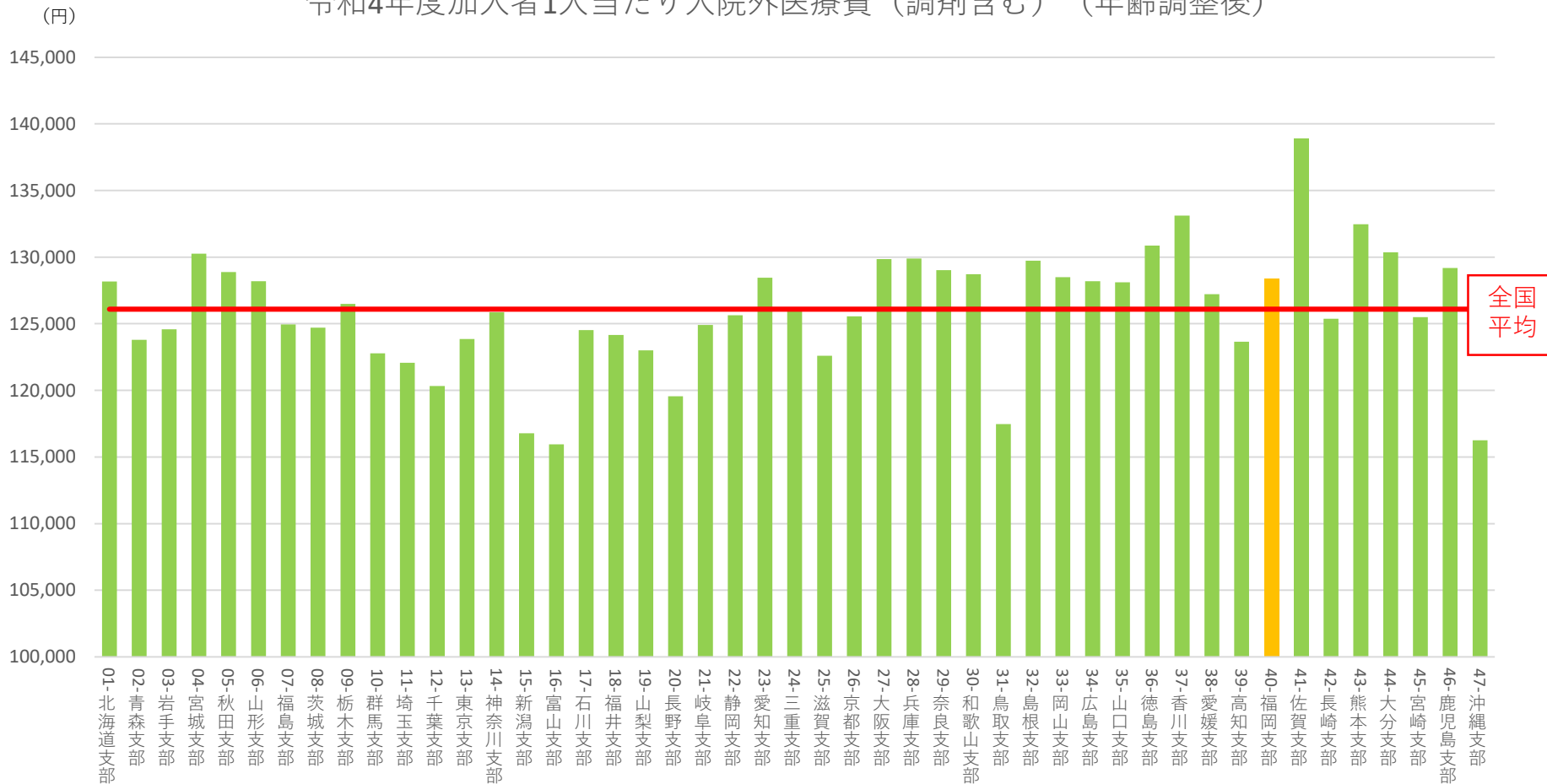
2.基本分析

(1) 福岡支部加入者の医療費の動向



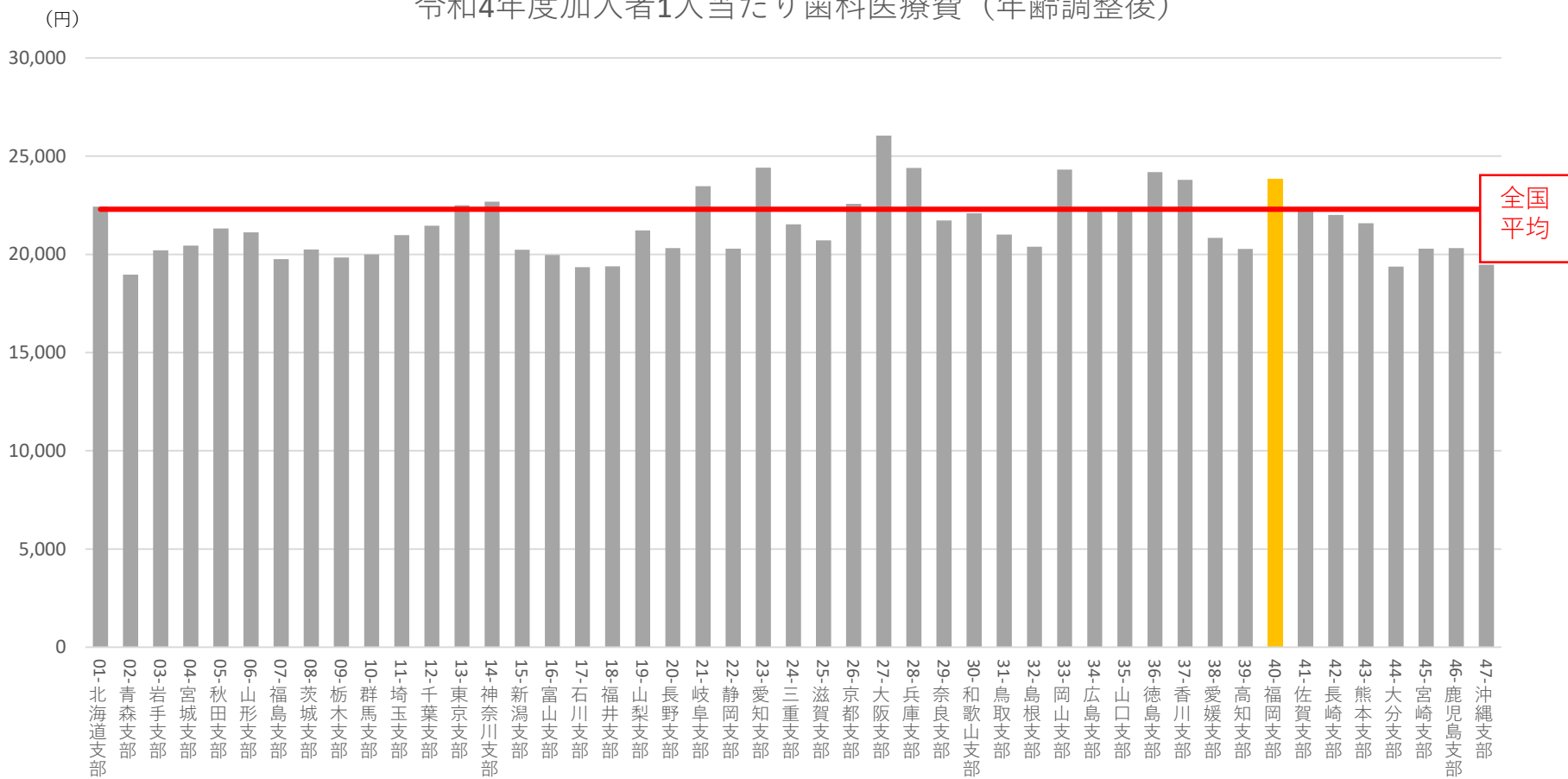
福岡支部加入者の入院医療費は全国平均より高く、全国9位である。

令和4年度加入者1人当たり入院外医療費（調剤含む）（年齢調整後）



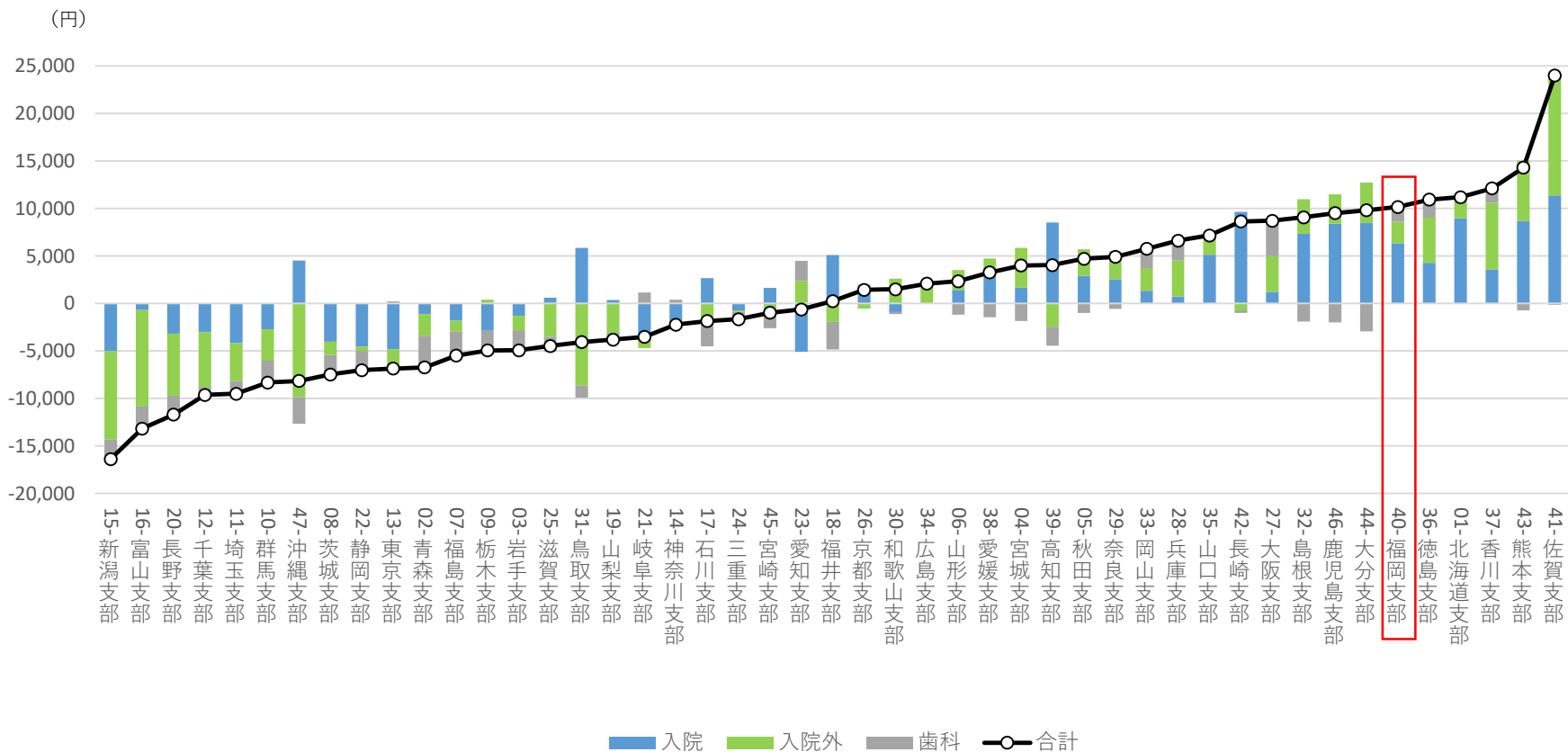
福岡支部加入者の入院外医療費は全国平均より高い。

令和4年度加入者1人当たり歯科医療費（年齢調整後）



福岡支部加入者の歯科医療費は全国平均より高く、全国6位である。

令和4年度加入者1人あたり医療費（年齢調整後）の状況（全国平均との差）



福岡支部加入者の一人あたり医療費は全国平均より高く、全国6位である。

令和4年度福岡支部入院医療費の疾病大分類ごとの割合

	疾病名	入院医療費割合
1	新生物〈腫瘍〉	23.37%
2	循環器系の疾患	17.32%
3	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8.46%
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.22%
5	消化器系の疾患	7.07%
6	神経系の疾患	4.41%
7	精神及び行動の障害	4.21%
8	呼吸器系の疾患	4.07%
9	妊娠、分娩及び産じょく	3.60%
10	周産期に発生した病態	3.46%
11	腎尿路生殖器系の疾患	3.45%
12	先天奇形、変形及び染色体異常	2.55%
13	内分泌、栄養及び代謝疾患	2.09%
14	特殊目的用コード	1.87%
15	眼及び付属器の疾患	1.67%
16	感染症及び寄生虫症	1.39%
17	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.83%
18	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.80%
19	皮膚及び皮下組織の疾患	0.65%
20	耳及び乳様突起の疾患	0.50%

福岡支部の入院医療費では、新生物〈腫瘍〉、循環器系の疾患の割合が高い。

令和4年度1人当たり医療費上位20疾病（疾病中分類120位中）

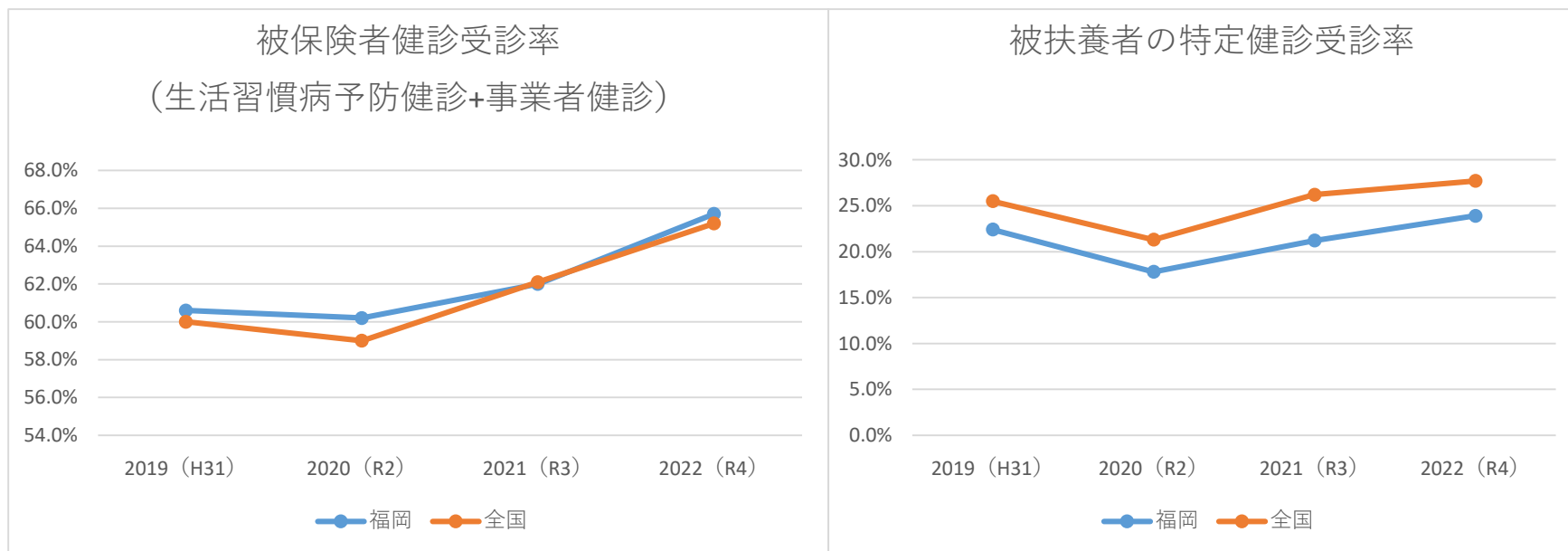
	疾病名	一人当たり医療費
1	高血圧性疾患	10,161
2	糖尿病	7,683
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	7,465
4	その他の消化器系の疾患	6,784
5	その他の神経系の疾患	4,979
6	その他の心疾患	4,323
7	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	4,280
8	喘息	4,232
9	その他の損傷及びその他の外因の影響	4,179
10	その他の急性上気道感染症	4,169
11	腎不全	3,849
12	アレルギー性鼻炎	3,836
13	骨折	3,705
14	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,546
15	皮膚炎及び湿疹	3,428
16	乳房の悪性新生物<腫瘍>	3,296
17	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,285
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,172
19	脂質異常症	3,088
20	関節症	3,077

福岡支部の一人当たり医療費を疾病別にみると1位「高血圧性疾患」、2位「糖尿病」である。

2.基本分析

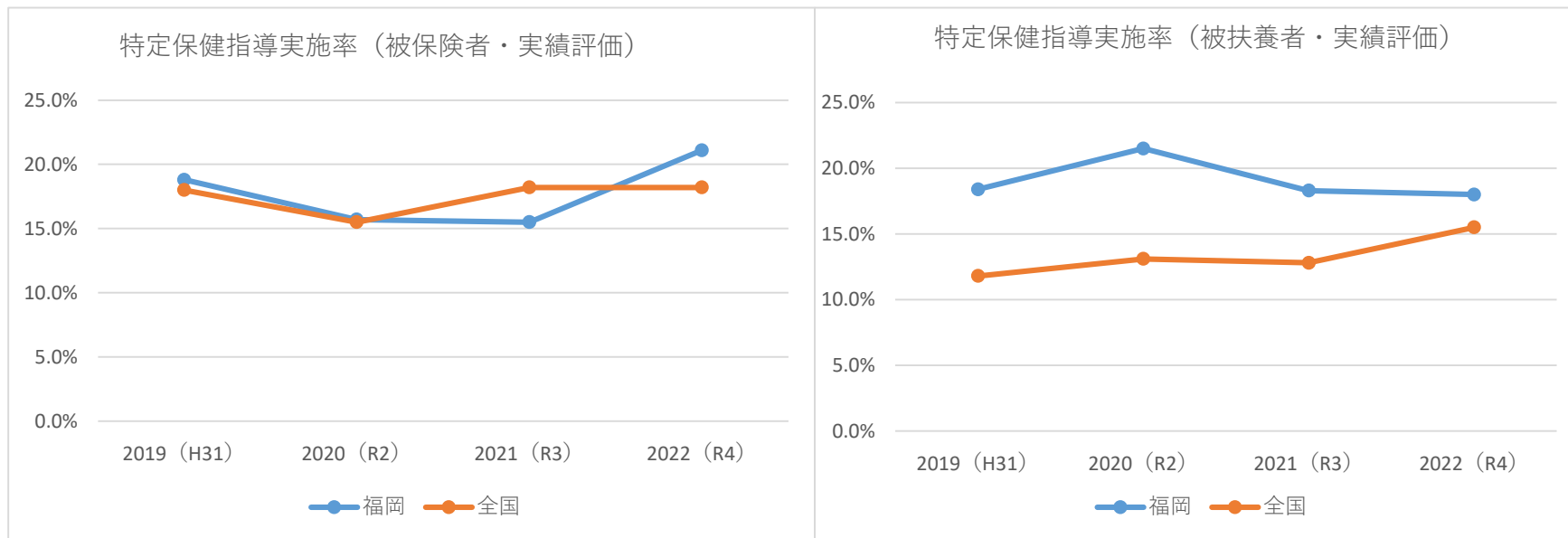
(2) 年度別福岡支部加入者の健診結果

◎健診受診率



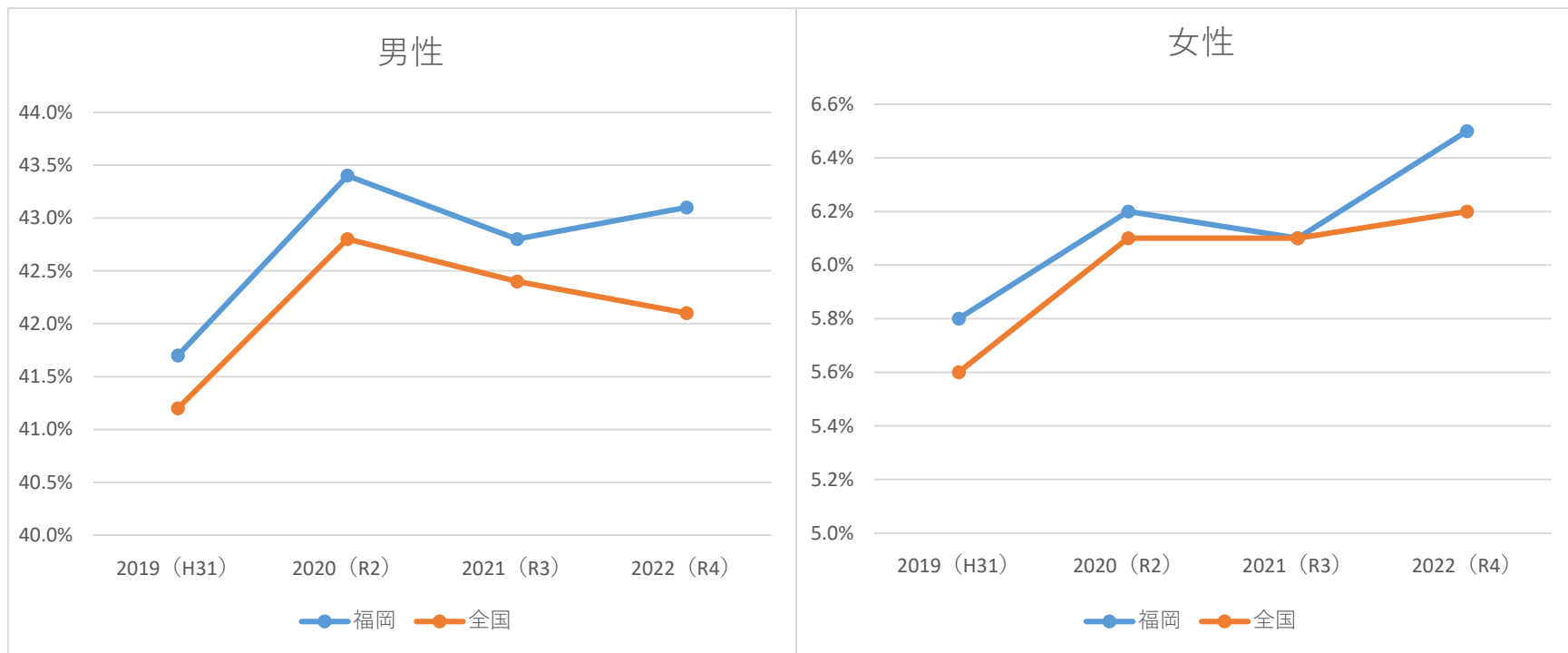
令和4年度の被保険者（40～74歳）の健診受診率は65.7%で、全国平均と同程度となっている。
被扶養者の特定健診受診率は23.9%で、全国44位となっている。
また、令和4年度の健診結果で受診が必要な人のうち、早期（健診受診月の前後1か月）の治療がない人は、84.2%（約15.9万人）である。

◎特定保健指導実施率



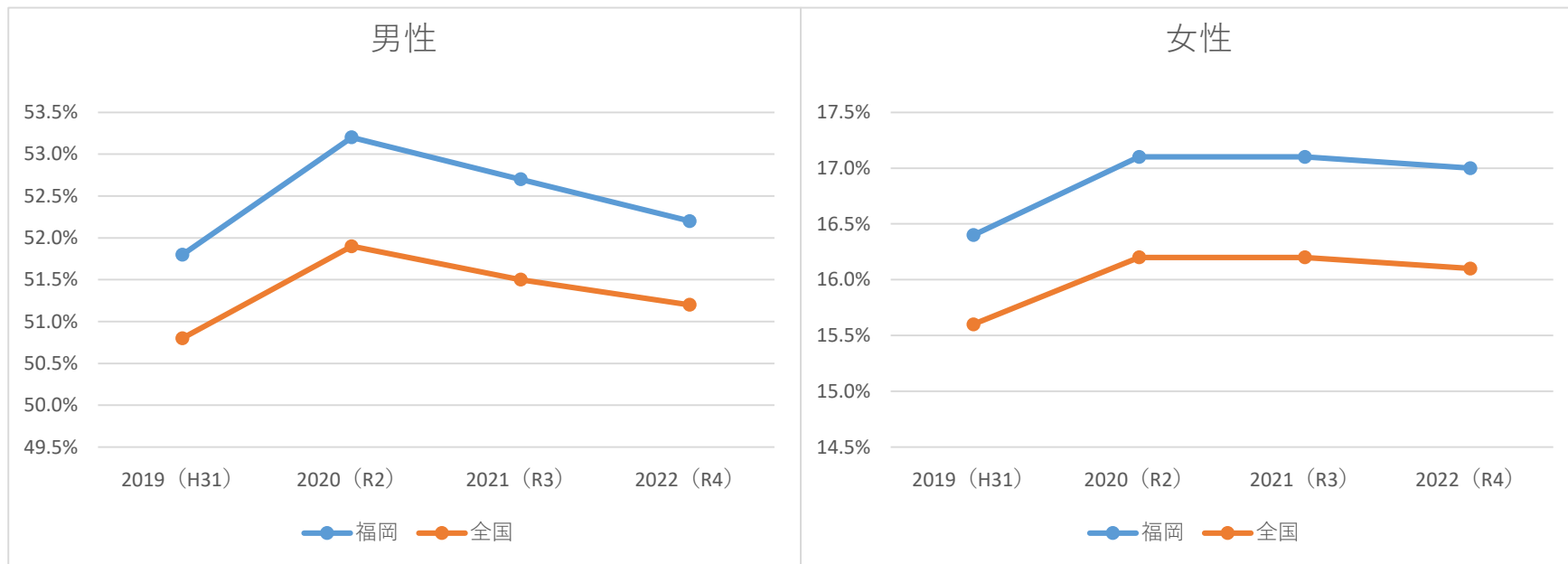
加入者全体（被保険者+被扶養者）での特定保健指導実施率は21.0%と、全国平均の18.0%と比較して高いものの、協会けんぽ全体の目標である35.0%とは大きな乖離がある。

◎男女別メタボリスク及びメタボ予備群の割合



男女ともに全国平均と比較して高い。

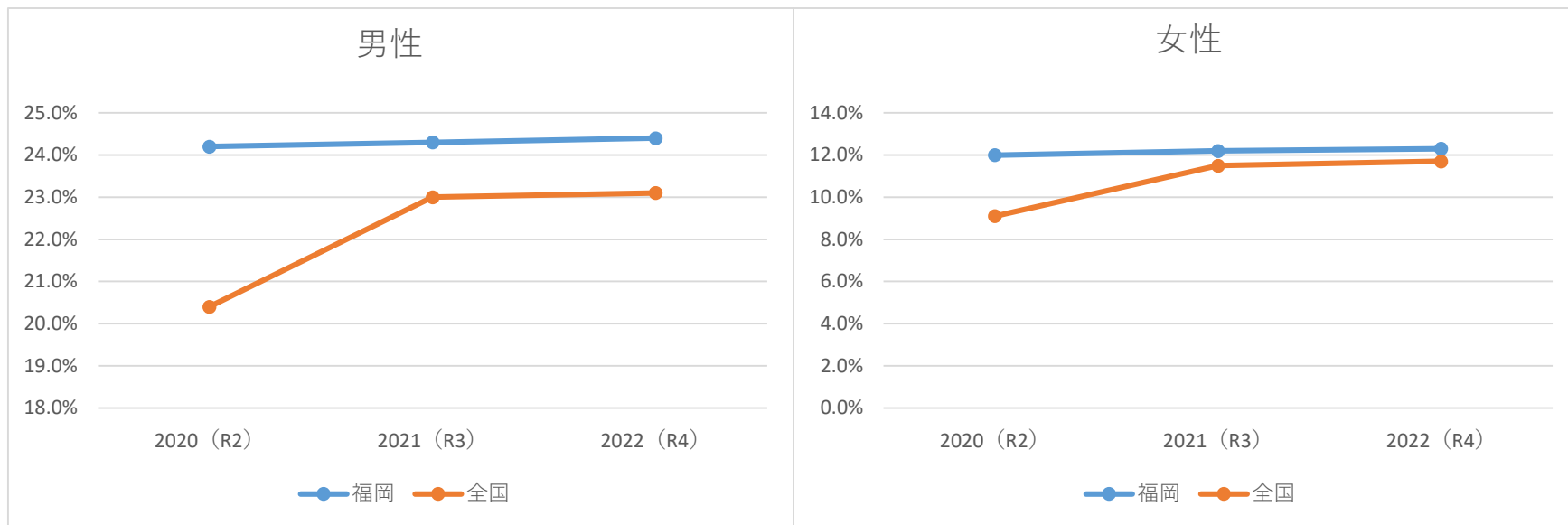
◎男女別腹囲リスクの割合
 腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上の割合



男女ともに全国平均と比較して高い。

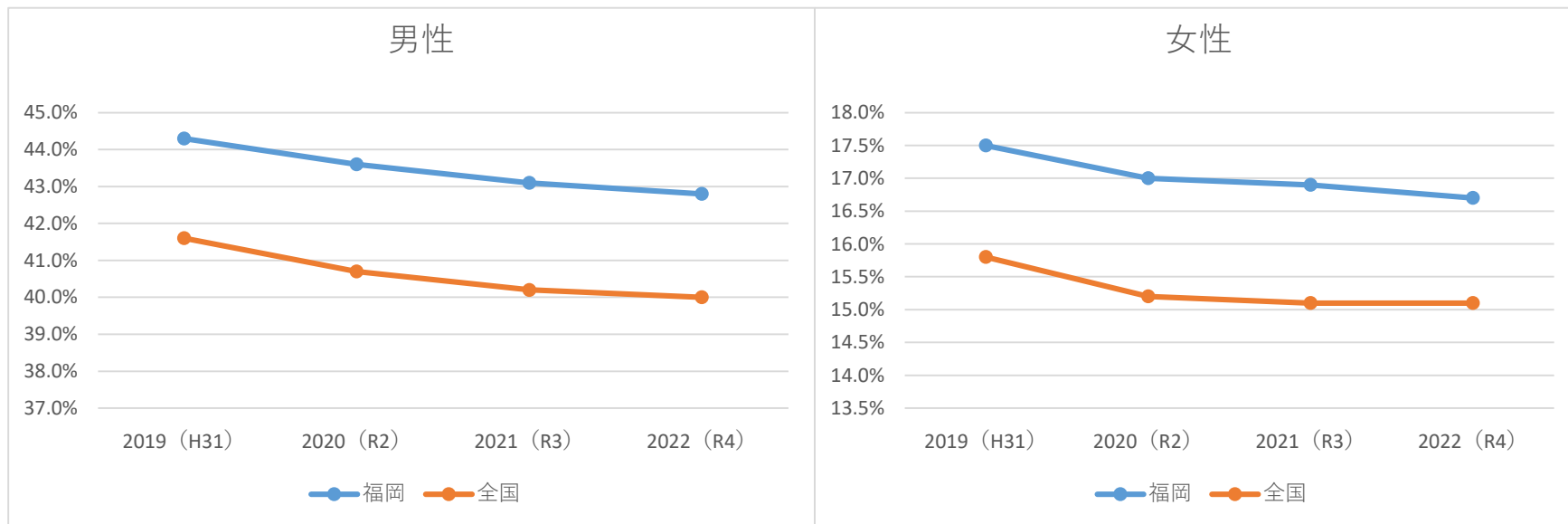
◎男女別代謝（血糖）リスクの割合

空腹時血糖110mg/dl以上又はHbA1c 6.0%以上または服薬している人の割合



男女ともに全国平均と比較して高い。

◎男女別喫煙習慣がある者の割合



男女ともに全国平均と比較して高い。

令和4年度福岡県民健康づくり調査報告書によると喫煙者のうち「たばこをやめたい」「本数を減らしたい」人の割合は平成23年の60.0%に対し、令和4年度は52.5%と減少傾向である。

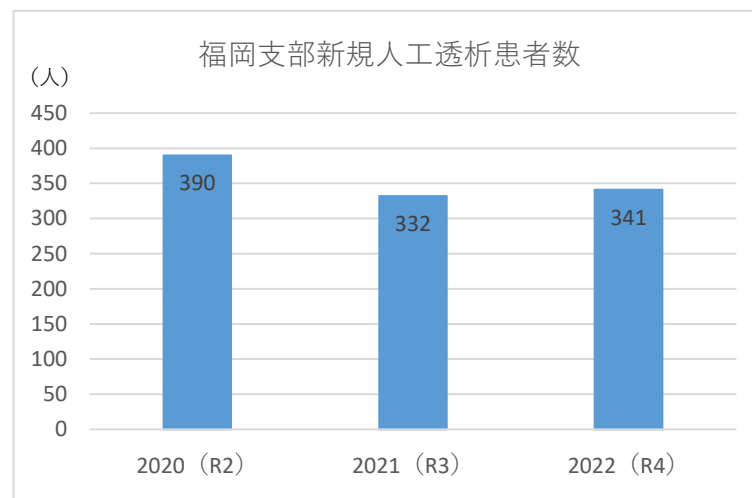
2.基本分析

(3) 福岡支部人工透析患者数等

◎令和4年度レセプトデータで確認できた福岡支部加入人工透析者数は**1,590人**
 (資格取得期間が1年以上ある加入者に限る)

◎令和4年度福岡支部加入の人工透析者1人当たり医療費は**4,128,670円**

	人工透析者	福岡支部全体
人数 (人)	1,590	1,879,511
一人当たり医療費 (円)	4,128,670	212,018



・福岡支部加入者の新規人工透析患者数は、直近3年度では330～390人程度。令和4年度の新規人工透析患者数は341人。

・令和3年度全国健康保険協会福岡支部レセプト分析報告書によると、糖尿病による新規人工透析患者数の内訳では、40歳代、50歳代及び70歳代以上が明らかに増加している。

また、新規人工透析患者のうち、約4割の者は、人工透析開始の前年度には、全く医療機関を受診していなかった。